

平成24年度地域政策推進事業予定事業一覧

(単位:千円)

事業名	区分	事業期間	事業概要	予算額
エゾシカ捕獲エキスパート活用モデル・資源有効活用事業		23 - 24	増加が著しいエゾシカ個体数の減少を図るため、鳥獣保護区等の越冬地における集中的なモデル捕獲を実施するとともに、捕獲後のハンターへの負担軽減を図るため、使用歩止まりが高い食肉以外の活用(ペットフード等)もできるよう、捕獲個体の円滑な引き渡しの仕組みを構築する。	1,951
くしろ地域ブランド定着促進事業	新規	24 - 25	釧路管内の自然環境や農水産物などの豊かな地域資源を魅力ある地域ブランドに育てていくことを目的に、「くしろ地域ブランドコンセプト」(平成23年5月策定)を管内住民や事業者等に周知し、当該コンセプトに基づく商品・サービスの開発への取組を定着させていくためのシンポジウムを開催する。	566
クールひがし北海道キャンペーン事業	新規	24 - 26	世界自然遺産の知床や釧路地域のラムサール登録湿地など優れた自然環境を背景に、道外地域に対して、道内でも特に冷涼な道東圏域の気候を活かした体験・滞在型観光を広く発信するとともに、急増した修学旅行の受入に関する課題に対応するため、魅力ある受入体制づくりに取り組み、道東の観光力のさらなる充実を図る。	398
持続的・地域農業支援モデル事業	新規	24 - 25	今後、離農者の大幅な増加が予想される中、離農跡地の農地を地域全体でサポートする受け皿づくりを進めるため、その基礎となる関係者の共通の認識を得るための将来の農地の活用状況等をシミュレーションし、効果的な地域農業の持続的発展に向けた対策の検討を行う。	431
再生可能エネルギー開発普及検討事業	新規	24 - 26	地球温暖化や東日本大震災の教訓を踏まえ、地域社会で必要なエネルギーは、一極集中型から、地域資源を活用した再生可能エネルギーを地域分散型で地産地消していく仕組みづくりが求められていることから、釧路管内におけるエネルギー資源を把握し、地域特性に応じた再生可能エネルギーのベストミックスのあり方について検討し、調査報告をまとめ、今後への布石とする。	404
緊急時地域情報伝達システム検討事業	新規	24 - 25	管内市町村における津波等の緊急時の情報伝達方法に関して、今後、補完整備が望まれる情報伝達システムのあり方について調査検討を行う。	395
自然の番人による環境行動促進事業		22 - 24	釧路、根室地域では、他地域に先駆け「自然の番人宣言」が行われ、賛同する企業・団体等が自然の番人として不法投棄の発見や防止の取組を行っている。この自然の番人たちに環境行動の率先を促すことで、地域全体への環境行動の定着や拡大を図る。	435
エゾシカの削減に向けたボランティアハンター活用推進事業		23 - 24	ハンターの都市部への偏在が顕著であることから、市町村によるエゾシカの捕獲を無償で行うボランティアハンターの活用を奨励することで、ハンターが不足している市町村のエゾシカ捕獲の推進を図る。	288
合計		8事業		4,868